

FREE

ご自由にお持ちください。

No.821
2022 February

2

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



「岐阜県伐木安全技術評価会2021」を開催しました



●「岐阜県伐木安全技術評価会2021」の詳細は13ページをご覧ください。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。



令和3年度 岐阜県地域森林監理士の活動状況について



岐阜県では現在、「第3期岐阜県森林づくり基本計画」に基づき、地域が主体となった100年先を見据えた森林づくりに取り組んでいます。

この取り組みを推進するため、県では地域における森林の管理及び経営に必要な専門的知識を有し、市町村に対する林務行政の支援や林業事業体等に対する民有林経営の助言等を行う「岐阜県地域森林監理士」を養成・認定しています。

これまでに23名が認定されており、岐阜県地域森林監理士による令和3年度の主な活動内容は次のとおりです。市町村や林業事業体の皆様からの様々なご要望にお応えすることができますので、是非、岐阜県地域森林監理士をご活用ください。

活動先	活動内容
岐阜県	森林経営管理制度に関する市町村林務担当職員研修、森林施業プランナー育成研修の企画・運営など
市町村	森林経営管理制度関係業務（対象森林の抽出、意向調査、森林所有者の探索等）、森林GIS等の活用、森林整備のための協議会・集約化会議等の運営支援、森林環境譲与税の活用提案、市町村森林整備計画関係業務、市町村有林の管理など
民間事業体等	林業事業体の経営体質の強化（森林整備・管理業務、現場での進捗管理の仕組み構築等）、森林経営計画の策定・実行監理、路網整備の指導など

今後も市町村等の要望に応えられるよう、引き続き岐阜県地域森林監理士を養成・認定していきます。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3027) 林政課 100年の森づくり推進室 森林企画係まで



表紙「岐阜県伐木安全技術評価会2021」の詳細は13ページをご覧ください。

目次 Contents

令和3年度 岐阜県地域森林監理士の活動状況について……………2

イベントカレンダー（一般向け）……………2

恵みの森林づくり 県民との協働による森林づくりの推進
「恵みの森づくりコンソーシアム」……………3

シリーズ「森林・環境税で緑豊かな清流の国ぎふづくり」(10)
山の歳時記(198) アラカシ堅果……………4

山のあじろ(197)……………5

1日目のウンゴの量、東山動物園のゾウ……………6

清流の国ぎふ 森と水を巡る旅……………7

ぎふ木遊館通信……………8

morinosプログラム紹介!!……………9

シリーズ「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」……………10

木の香をぎふの施設(107)……………11

岐阜県立東濃特別支援学校 図書室……………11

森林と人を活かす知恵(109)……………12

製材から林業と木材利用を知る……………12

岐阜県伐木安全技術評価会2021を開催しました……………13

〔令和3年度全国治山・林道コンクール〕……………14

〔令和3年度山地災害防止標語コンクール〕の表彰……………14

研究コーナー……………15

スギ心去り平角材の強度を考える(1)……………15

普及コーナー……………16

造林技術の普及の必要性を実感……………16

スマート林業通信(20) ドローン予備線架設技術研修を開催……………17

国有林の現場から(64) 国有林で山登り in岐阜署……………18

林業者向けお知らせ……………19

市況……………20

第3期岐阜県森林づくり基本計画(H29～R3)では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

◆恵みの森林づくり 県民との協働による森林づくりの推進

「恵みの森づくりコンソーシアム」

恵みの森づくりコンソーシアムは、林業、製造業、観光業等様々な業種の企業や団体、個人で構成され、新たな森林資源の価値に注目して林業ではカバーされない里山・奥山林の持続的な保全と森林資源を活用した産業の育成を目指し、森林の望ましい姿、活用方法等について考え実践している組織です。

平成23年の創設から、10周年を迎えた同会は、これまで様々な講師を招いて講演会や研修会を開催したり、森林づくり関係のイベントにおいて森の恵みをPRしたりしてきました。また、高齢者介護で利用する木製のリハビリ道具や幼児保育で利用する木のおもちゃの試作品の開発などにも取り組んできました。

令和3年度は、国際的な森林認証FSCに関する研修会や、「木は森からやってくる ～木のこと、わかっているようで、わかっていない、かも～」と題して木について考える勉強会を開催しました。また、実際に森林整備を体験できる場として「恵みの森づくりコンソーシアムの森」を整備するために、現地検討会を行いました。

ここ2年は、コロナの影響により、イベントへの出展等ができない状況でしたが、今後も実施方法を模索しながら、多様な森林づくりやその活用を研究し、情報発信していきます。



FSCに関する研修会（東白川村森林組合）



コンソーシアムの森づくり現地検討会（高山市清見）



恵みの森づくりコンソーシアム会員募集中

恵みの森づくりコンソーシアムでは、一緒に活動する会員（団体・個人）を募集しております。森林づくりや森林環境教育などをテーマとした講演会や研修会への参加や、様々な業種の会員との交流ができ、活動の場が広がります。インターネットでも情報発信しておりますのでご覧ください。

県HP：「恵みの森づくりコンソーシアム」<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/111832.html>

Facebook：<https://m.facebook.com/meguminomori.consortium.gifu/>



●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3035)恵みの森づくり推進課緑化推進係まで

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

10

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業 ～税の広報や税事業の評価等を実施～

【事業内容】

- 森林・環境税を活用した各種事業の概要や事業過程、達成状況などを県民の皆様に広くお知らせするための広報を実施しています。
- 各種事業の透明性を確保するため、外部有識者等で構成する第三者機関を設置し、各事業の取組みへの意見や提案、事業実施後の評価を行っています。

【具体的な取組み】

● 広報・啓発の実施

- 森林・環境税活用事業の事例発表等を行う、「緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム」の開催
- 森林・環境税事業を紹介するリーフレットの作成及び配布
- のぼりなどの啓発資材の作成 等

● 事業の評価等

- 第三者機関の「清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会」を年3回開催（令和3年度は4回を予定）
- 毎年、事業成果報告書を作成し、審議会による評価結果等をHPで公開

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会の議事内容等

開催	時期	主な議事内容
第1回	7月頃	・前年度の事業内容の評価
第2回	12月頃	・当該年度の事業実施状況への助言 ・翌年度の事業内容への意見
第3回	3月頃	・翌年度の提案事業への意見

【実施状況写真】



令和3年度第2回事業評価審議会の様子
(岐阜県庁議会西棟)



第9回緑豊かな清流の国ぎふづくり
県民フォーラムの様子(岐阜市)



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

霜の降りた落ち葉の下に、まだ根を出していないアラカシのドングリを見つけました。

ドングリは樹種によって発根パターンが異なり、落果するとすぐに根を出して越冬するコナラやミズナラ、クヌギなどと、落果して翌春までほとんど発根しないアラカシやシラカシなどに分けられます。私が見つけたアラカシも発根するのが遅いため、2月でも普通のドングリとして拾えたのです。

ブナ科のアラカシ (Quercus laevis) は暖温帯を代表する常緑高木で、枝葉が粗く、葉がやや大きく鋸歯が粗い「粗」と、カタギ(堅い木)である「堅」から「アラカシ(粗堅)」になったとされます。

別名アオガシとかクロガシ、ナラバガシとも呼ばれますが、学名の小種名 *laevis* も「灰青色の」という意味で、別名のアオガシ(青堅)と同じ意味なのです。

アラカシの葉は長さ7〜12cmほどで、先端から1/3ないし1/2ぐらいの部分が最も幅が広く、この部分から先端にかけて粗い鋸歯があります。葉の裏面は絹毛が密生しており、ロウ(蠟)物質を分泌するため灰白色で、そこをライターなどで炙るとロウが溶け出して緑色に変化します。

また葉や樹皮には多量のタンニンを含むため、媒染剤やなめし皮剤に利用するほか、枝が丈夫なため奈良地方ではお正月のダンゴ焼きにアラカシの枝を使うそうです。

分布域は宮城県から沖縄までとカシ類の中でも最も分布範囲が広く、蓄積量も最も多い種とされます。一例として伊勢神宮の森林を見てみると、アラカシの蓄積が全カシ類の75%を占めているほどなのです。

全国のアラカシの中で、最も幹周囲が大きい個体は、岐阜県揖斐川町春日美東にある「熊野神社のアラカシ(県指定天然記念物)」の650cmとされ、最も樹齢の高い個体は高知県土佐町田井上野上にある「観音堂のアラカシ(町指定天然記念物)」の600年とされます。

「カシ」と言えば。一般に「道具の柄や船の櫓、木刀にはカシの木を使え」と言われますが、カシの中でも木刀はアカガシが良く、農具の柄にはイチイガシが一番良く、次いでアカガシ、シラカシが良いと言われ、アラカシはほとんど利用されません。アラカシは里山にも多く見られるものの、大径木が



▲森で拾ったアラカシの堅果

少ないため薪炭材やパルプ用材にしか利用されないのが現実なのです。最後に長期間拾いやすいアラカシのドングリは、すりつぶして水に晒し、渋み成分のタンニンを取り除いて食用にされました。韓国のソウルなどのレストランで冬に出される「ムック、トットリム」はアラカシのドングリでできていることを思い出したのです。



山のおじまむし



—1日のウンコの量、東山動物園のソウ—【第367回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

前号でお話したキリギリス。11月中旬過ぎても元気いい。それが後半になると動きが鈍くなる。「あと、何日音色が聞けるだろう」と思う日々。ところが12月になるとなぜか回復。元気になったのである。これならクリスマスまで生きる。美しい音色を聞きながら皆でケーキが食べられる。そんな光景を浮かべていたら、「これだ！これがこの原稿のネタだ」と体が熱くなった。しかも、キリギリスはいつ天国へ旅立つかもしれない。そうなればキリギリスを飼養する原稿にもなる。急に心が楽になってきた。それが、「駄目だ」と再び心が重くなる。原稿の締め切りが25日。間に合わないからだ。若いころは1週間で完成したが、今は頭の老化で無理。それに、文章へのこだわり。これだけはボケていない。理解してもらえるか。息の詰まるような文章ではないか。などなど自分自身で納得できたら投稿しているからである。別のネタを探さねば。さらに気が重くなった。翌日、娘が声をかけてきた。「明後日、東山動物園へ行けど、一緒に行かない」。私は「これだ、助け船が来た」と体が再び熱くなる。孫たちがどんな目で動物を見るか。どう感じるか。これがネタになる。しかも、1日間だけの行動を書くだけで。十分間に合う。この日の晩酌はいつもよりおいしかった。

× × × ×

12月12日、8時半に動物園の駐車場へ。ほぼ満車。コロナの規制が緩んだせいか家族連れが多い。9時、開園。孫たちは園内へ駆け込んだ。ここまでは今までと同じだ。しかし、今回は違った。小学6年のY君が園内マップを見ながら歩くコースを考えたのだ。親たちは地図を手にしたY君についていだけ。Y君は妹たちに「次は何が見たい」と聞きながらそこへ向かう。驚いたのは今までだったらライオン、ソウ、カバ、サイ、キリンなどの大型動物が人気者。それが、今回は他の動物に目が向き、それを興味深そうに見ている。どの動物にもわかりやすく説明した看板があった。その説明を小学2年のNちゃんも見ていた。字が読めるようになったからだ。その説明を読んで孫たちがいろいろなことを聞いてきた。「おじいちゃん、分布って何なの」とか原産地、害獣、共生、共食いなどいろいろだ。話していると「こんなことを感じているのか」。孫たちも成長したものだ嬉しくなった。しかし、こうした楽しい時期もいずれ無くなるだろう。と思ったら急にさびしくなった。

× × × ×

このほか、鳥、ヘビ、ワニ、魚など450種以上いた。すごい数だ。これをすべて見た。しかし、時間がなく、見ただけというのがたくさんいた。そこで孫たちに「どの動物が思い出に残った」と

尋ねた。「ゴリラ。高いところから家族を守っているから」と小学4年のIちゃん。次いでNちゃんが「可愛いコアラ」だと答えた。私は二人の性格から何となくわかるような気がした。ところがY君。「なんだろう」と考えていたが「ソウの糞」と答えた。

ソウは1日に1トン食べて、同じ量をうんことして出すとして、その模型が展示してあった。その量が多かたからである。軽トラ1車分くらいの餌。その横にはソフトボールよりはるかに大きい丸い糞。これが何個（おそらく数百個）も積み重ねてあった。ソウ1頭が1日にこれだけ食べて、これだけ糞を出す。Y君だけでなく私自身も驚いた。また、動物の住居には野外広場とその横に建物（宿舎）があり、そこを自由に出入りしていた。ある動物を見ている時Iちゃんが「何であの建物があるの。入ってしまうと見ることができないよ」と不満そうに言った。

「あれはね、狭い部屋ばかりにいと、運動不足になって体を悪くするからだよ。だから外に出て気分転換のため動き回っているのだよ」と答えた。するとIちゃん「だったら家のキリ



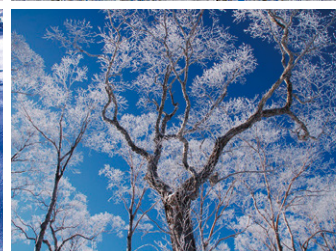
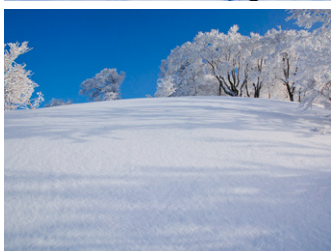
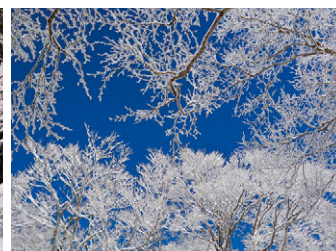
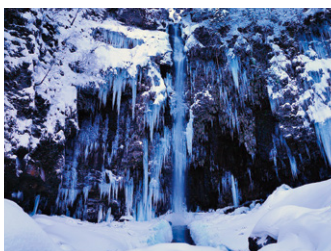
ギリスは、狭い虫かごの中ばかりにいるので可哀そうだね」と言った。この言葉。まさかIちゃんからでてくるとは思いもなかった。しかし、私には気になる言葉であった。あつという間に閉園。本当に楽しい1日だった。

× × × ×

午後、7時帰宅。まず孫たちは虫かごへ。「生きているよ」と大きな声。皆が虫かごを見て一安心。これだけ長く一緒にいると家族の一員だ。特に娘。12月からは娘が餌やりや虫かごの掃除をしているので、よけい可愛いのだろう。その後寒さが厳しくなり、ほとんど動かなくなった。しかし、手を出すと逃げるのでまだ元気だ。これならクリスマスまで大丈夫だ。そんな気がしてきた。ある日娘は「キリギリスが死んだら、飾っておきたいのでガラス蓋の箱に入れてちょうだい。これはお願いではなく命令だから」と言った。娘のキリギリスに対する思いやり。胸に響いた。娘が動物園へ誘ってくれたお陰で、その後のキリギリスの様子まで書くことができた。とうとうクリスマスイブの日が来た。キリギリスは元気だ。これなら明日は家族でキリギリスを見ながらケーキが食べられるだろう。この様子を書きたいが、原稿締め切り日の明日は休日。すぐに送らなければ。



木と水と清流の国ぎふを巡る旅



■如月・静寂の季(とき)

森にも水にも静寂の季がある。

しんと雪が降り積もり、凍てつく夜を過ごし、そうして次の季節に向け静かに準備を進め、やがて春を迎える。

そのように季節は静かに巡っていく。

森の動物たちもその循環の中にある。

季を忘れたように一年中忙しく動き回っているのは、たぶん人間様くらいだろう…。



【森林のたより編集担当】



ぎふ木遊館通信



<大学との関わり>

ぎふ木遊館は、乳幼児とその保護者の方が主な利用者ですが、学生や青年期の世代との関わりも創ってこうとしています。その1つの例として、県内で保育・幼児教育を学ぶ大学と連携した木育講座の開催や当館でのフロアスタッフ実習の機会を設けています。今年度は3大学と連携しています。

12月には、東海学院大学短期大学部幼児教育学科の学生が当館での実習を2回に分けて行いました。まずは学生自らが木のおもちゃで遊びながら、「木のおもちゃを通じた親子のコミュニケーション」「あそびのレシピづくりに繋がる木のおもちゃ」について学びました。続いて、フロアスタッフとして、実際に遊びの見守りをしてもらいました。

参加した学生からは「どう接したらいいのか頭で考えるよりも、まず自分も楽しむことの大切さを感じた」「木のおもちゃに決まった遊びがあるわけではなく、子どもたちの想像力が遊びを拡げることを実感した」などの感想をいただきました。今回の経験が、これから先の保育・幼児教育の現場でのぎふ木育の実践につながることを期待します。



<高校との関わり>

もう1つの例として、岐阜農林高校森林科学科との連携によるギャラリー企画展を紹介いたします。森林科学科3年生が課題研究として取り組んでいる里山の放置竹林の課題を一般の方に広く知ってもらう場として、12月13日～20日にギャラリー企画展「～タケであそぼ!～」を開催しました。竹ぼっくり・竹パチンコ・竹ドラムなど竹を使った遊びを紹介し、子どもたちに竹の魅力を伝えようというものです。

展示最終日には、来館する親子を対象に、生徒たちの企画による竹スタンプ遊びと竹とんぼづくりを実施しました。参加した親子は最初少し緊張しながらも、徐々に生徒にも慣れて笑顔が見られました。一方、生徒たちは「普段接することの少ない幼児を遊びに誘うのが難しかった」「一緒に遊んで笑顔になってくれたときは嬉しかった」という感想を言ってくれました。伝えることの難しさとともに、どのようにすれば伝えたいことの一端を伝えられるのか、そのヒントを感じ取ってもらえたなら幸いです。

生徒のうち1名は、「ぎふ木育サポーター養成講座」を受講し、学業の合間に木育ひろばのスタッフとして活動してくれています。ぎふ木育に興味をもった学生が行動に移せる場や機会を今後も設けていきたいと思えます。



ぎふ木育サポーター養成講座 参加者募集中

木のおもちゃや遊びを通じたコミュニケーションやホスピタリティを楽しく学び、「ぎふ木遊館」はじめ各地の木育拠点や木育イベントでボランティアスタッフとして活動したい方を対象にした講座を今年度は6回開催しています。森林・林業・木材産業に携わる皆様にとっても、目からウロコの学びがあるかもしれません。

今年度は残り1回となりましたのでご興味ある方はお申込みください。



日にち 令和4年3月7日(月)

受講時間 10:00~16:00

会場 ぎふ木遊館 木工室

詳しくはぎふ木遊館ホームページの「お知らせ」欄をご覧ください →





やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

今回は、自然体験活動指導者向けプログラム「木読（もくどく）講座・危険木の見分け方と木を読む楽しみ方」です。

森林空間を活用した自然保育や森のようちえん活動、また、一般利用者が多く利用する公園などでも大切な、危険な木の見分け方やその対処方法に関する講座で、森のようちえん指導者、保育士、自然体験活動指導者など25名が参加しました。講師は、木の形や状態を、まるで本を読むかのように解説し、何が起きたか、危険木はどれかなどについてお話ししてくれる樹木医の三戸久美子さん（NPO法人 樹木生態研究会）です。

まずは室内で、本日学ぶことである「V. T. A法^(※1)」、「樹木の特性を理解する」、「木の危険性を知る」、「樹種による強弱を知る」の4項目のシェアリングです。例えば3つ目の「木の危険性を知る」なら、①枯れ枝や掛かり枝の理解、②構造的に弱い部分、③腐っている部分などです。

木の腐朽した部分について見れば、白色腐朽菌に侵された場合は、木部の強度が低下するため生きた組織が強度を増やそうと細胞を増やし、結果として全体的に膨らんでくるから腐朽していることがわかります。しかし褐色腐朽菌に侵された場合は、リグニンが分解されていないため樹木は強度低下が少なく、樹木自体が強度を増さなければならぬと認識しないため、逆に危険となります。

例えば、クスノキは樟脳が含まれ耐腐朽性が強いので、枝が折れても腐ることなく枝痕を巻き込んでいます。しかし枝が長く伸びすぎることも多いため、強風の時にはその枝が折れることも多々あります。だから風が強い時にはクスノキの下では遊ばせないことも考えましょう。

現地研修では、関市立田原保育園のみなさんが日常的に森林活動されている現場を舞台に、保育園児たちも参加して実践的に学びました。



ブランコを設置しているソヨゴ 枝が巻き込んでいる部位の解説

現地に行くと、台風で斜立したソヨゴに手づくりブランコが設置されています。しかしこの木をよく観察すると、太い大きな枯れ枝が載っている、ロープを掛けてある部分の70cm幹元には大きな腐朽がある、根元から数本生えている幹の中には腐朽が進行してカワラタケが付いているなど、いろんな視点から、様々な危険を示唆されました。

また、近辺にはコナラとソヨゴが多く生えていますが、樹種ごとに強度が違うことや根の深さが違うこと、危険を様々な視点で見ないと分からないこと、また現場の風当たりや土壌の水分環境などによって、そこにある樹木がどのように成長してきたかなどをつぶさに解説され、研修会が終了しました。

森林空間を活用した活動において事故が発生すると、被害を受ける方はもちろんのこと、その森を日常的に利用している個人、団体や管理者に大きな影響が発生します。そのため、事故が起こらないように、日頃から、見回りや安全点検を行い、危険木を見分けて対処することが大切だということを改めて感じた研修会でした。

こうした研修会もmorinosのHPで開催をお知らせしています。（新型コロナウイルス感染防止対策の状況により実施しない場合もあります。）

興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、YouTube動画をご覧ください。



室内での講義 講師の三戸久美子さん（左）

※1 VTA (Visual Tree Assessment) とは、ドイツのクラウス・マテック博士らの開発した樹木診断方法で外観診断、精密診断及び樹木の物理的強度を評価して樹木の健全度を判定する方法

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00～16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube 「morinosチャンネル」

シリーズ

「住民主体の創意工夫ある

森づくり・川づくり活動」

県では清流の国ぎふ地域活動支援事業(清流の国ぎふ森林・環境税活用事業)により、各種団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくりや川づくり活動を支援しています。こうした団体の活動内容について、連載でご紹介します。

みのかもアルプホルンクラブ

●設立年

●平成19年

●設立目的

●近年、森林の荒廃が言われています。間伐は山林を豊かに甦らせませんが、作業は危険で誰でも簡単に行えません。そのため、間伐材でアルプホルンをつくり演奏する活動と、みどりのふれあい活動を通じて、間伐や間伐材使用、みどりの保全、山林に入る楽しさや喜びを伝え、明るく美しい森林づくりを社会に広めることを目的としています。

●主な活動分野・活動内容

- ヒノキ間伐材を使ったアルプホルンづくり
- アルプホルン演奏(スイスの情景が浮かぶ演奏をめざしている)
- みどりのふれあい活動(どんぐり工作等)
- 「アルプホルンだより」の隔月発行

●令和3年度地域活動支援事業名

●アルプホルンを吹こう

●事業内容

- 4月～2月 HPで情報発信
- 5月～8月 アルプホルンづくり市民講座「アルプホルンを吹こう」の開講(10回)
- 6月～12月 太田宿中山道会館で公開練習(演奏)(6回)
- 7月 伊吹山3合目で開催されるユウスゲまつりでの演奏
- 8月 アルプホルン完成式(さかほぎ工房)

●事業目標や事業効果

- 市民講座「アルプホルンを吹こう」受講者3名募集(10回開催)
- イベント主催者からの依頼演奏30回
- 公開練習6回(聴衆20人/回)

●その他

- 5月～8月(土・日曜日)にアルプホルンづくり講座で、アルプホルンをつくりませんか。
- 講座で使うアルプホルンの部材を作る作業所を探しています。
- アルプホルンを新たな岐阜の名産品にしませんか。

問い合わせ先

みのかもアルプホルンクラブ

TEL:0574-2501-2106

mail: admission@minokamoahc.sakura.ne.jp



ぎなんプレーパークの会

●設立年

●平成28年

●設立目的

●自然体験を通じて、子どもの健やかな成長を促すため、身近な公園等において、子どもが四季の変化を身体で感じながら「自己責任のもと、自分たちの自由な発想で遊ぶ」ことができるよう、また、子どもの居場所や様々な世代間交流を図ることを目的に設立しました。

●主な活動分野・活動内容

- プレーパーク
- ぎふ木育体験教室(削り馬製作、削り馬活用ワークショップ等)

●令和3年度地域活動支援事業名

●身近で森を感じよう
～プレーパークをとおして～

●事業内容

- 削り馬活用ワークショップ
- プレーパークと森を身近に感じる木工工作体験
- けやきの木伐採体験
- 焼き芋交流会とプレーパークで森の工作体験

●事業目標や事業効果

●森林の少ない岐南町で「ぎふ木育」体験を通じて自然と触れ合い、自然の大切さを実感できる活動とすることで、子ども達のみでなく大人にも森や木とのつながりを知ってもらう事ができ、持続可能な社会や、自然環境にも意識を向けられるようになっていく。保護者や地域の大人にも、木の良さや活用方法を知らせてもらえるとともに、木の良さと活用の発想の大切さを感じてもらい、禁止事項のなるべく少ない寛大な気持ちで子育てができるようになる。

●その他

◎過去の実施内容

- どんぐりコーヒー制作体験と試飲+プレーパークで森の飾りづくり
- 木のキーホルダーづくり

◎今年度の事業実施状況

●今年度は岐南町外でのプレーパークと森を身近に感じる木工工作体験も積極的に行なっています。

◎新規の会員募集 等

●応援や協力してくださる方を募集しています。また、プレーパークを始めたい方もご連絡ください。

問い合わせ先

ぎなんプレーパークの会

TEL:090-2643-4019

mail: ginanplaypark@gmail.com



岐阜県立東濃特別支援学校 図書室

岐阜県土岐市泉町根ノ上1127-10



外観

施設概要

事業年度	令和2年度
事業主体	岐阜県
構造 延床面積	鉄筋コンクリート造2階建 3,109㎡ うち対象分 図書室 42㎡
施設用途	学校施設
木材使用量 使用樹種	7.91㎡ (床、壁) ヒノキ (ぎふ証明材100%)
全体事業費	5,995千円(県有施設木質化等推進事業)
設計者	(株)熊谷設計
施工業者	(株)東濃ハウジング
工期	令和2年7月22日～令和2年9月30日

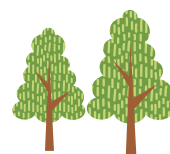
施設の経緯

多治見市、土岐市、瑞浪市を所管する特別支援学校です。校訓「輝くいのち、共に生きぬく」のもと、子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じながら、社会参加や生活自立することを目標に教育活動を行っています。

今回、図書室について、岐阜県産のヒノキを使った内装木質化の改修工事を行い、床・壁が新しくなり、子どもたちが気持ちを落ち着けながら読書や勉強に取り組める空間となりました。



内観



ここに注目!!

床と腰壁を木質化し明るい空間となりました。目に優しい自然な色合いで、ヒノキの木目が目と心に優しく、触り心地もさらさらとしています。

利用者の様子

子どもたちは、ふと漂ってくる木の香りでリラックスしながら、快適に読書や勉強に励んでいます。

■問い合わせ先
岐阜県立東濃特別支援学校
TEL 0572-55-4821



内観

製材から林業と木材利用を知る…

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 吉野 安里

●川上から川下まで

● 本学の敷地内には、演習林と製材機、人工乾燥機があります。林業専攻の学生は実習で演習林の木を伐採します。その木材を製材・乾燥して、建築専攻の学生は実習で小さな木造の建築を行います。製材の背板は、森林環境教育の場で工作や薪に使います。小さいながら川上から川下までの縮図があり、「地産地消」を実現しています。

【体験1】挽いてみる

● 素材が製材品になる瞬間に、学生は興味を示します。外観からは想像できない世界があります。新鮮な木肌、木の香り、鮮やかな心材、生節、死節、あて、もめ、腐朽や変色などがあります。樹皮下や木部の穿孔内に、カミキリムシやゾウムシの幼虫が棲息していることもあります。

【体験2】施業履歴が見える

● 丸太を髓(心)で挽き割ると、成長の軌跡が見えます。まっすぐではなく、ヒョロヒョロと成長していること、間伐による年輪幅の変化、枝打ちの優劣、

● 枝打ちから「無節」になるまでの年数、も見えます。

【体験3】帯鋸の不良も教材になる

● 刃先のステライト(耐摩耗・耐高温の合金)の部分が数個欠けているだけで、挽き肌は荒れて「洗濯板状」になります。

● 切り屑がうまく排出できないと切削効率が下がるのは、チェーンソーと同じであり、学生も実感しやすいようです。

【体験4】曲がり材は嫌われる

● 丸太を送材車にのせると、立木や、造材の時よりも、曲がりがよくわかります。「素材のJAS」の曲がりの定義



【体験1、2】

● は「直径に対する内曲面の最大矢高の割合」です。「いくらの大きさの角材がとれるか」という視点です。曲がり材を挽いて、歩留まりの悪さや、目切れを体験します。曲がり材を梁に使う例にも触れます。

【体験5】大径材の実態を知る

● 最近では、大径材も伐出されます。元玉からは、梁桁材の二丁取りや柱材の四丁取りも、心去りで可能です。ところが、風などの外力を受けて育った丸太は、髓(心)を中心に挽き割ると、左右に開いて大きく反る傾向があります。修正挽きすると更に反り、大きな目切れも生じて使えません。元玉の中



【体験3】

● 心部からは心持ちの柱や梁を、周辺部からは板を木取るほうがよい…となる柱や梁の「材面割れ」をどうするか。背割りや高温セット法(ドライングセット)の話へ発展します。板はほとんど無節で、内装材や集成材へ使えます。二番玉になると、節は増えますが、反りが少ないことも体験します。

●教材としての製材機

● 本学の製材機はレトロです。寸法はデジタル表示ですが、材を転がしながらの一面ずつの製材作業です。この最小限の機能が、教育にはちょうどよい。本学はドイツのロッテンブルグ林業大学と連携しています。先方のデデリッヒ先生が製材の授業を見学され「我々の学校にも製材機が必要だ」と言われました。教育的効果を見抜かれたのでしよう。

● 製材は、林業、木材利用の教育の上で重要な位置づけにあります。育てる、伐出する、使う、をリンクして考えることができるからです。派生する社会問題や技術的課題の解決にまで発展した学びができます。

● 森林文化アカデミーは、現地現物主義の教育にこだわります。



【体験4、5】

岐阜県伐木安全技術評価会2021



を開催しました

去る11月20日(土)、美濃市曾代の運動公園「台山ヒロック」において「岐阜県伐木安全技術評価会2021」を開催しました。

この評価会は、森林技術者の方々のチェーンソー操作技術の向上と安全作業の再認識を目的としており、昨年度に引き続き2回目の開催となりました。県内の森林組合、林業会社、森林文化アカデミーの学生の中から応募のあった総勢20名の方々により、新規就業者(経験年数3年以下)と中堅技術者(同概ね10年以上)の2部門に分かれて競技を行いました。

競技の内容は、日本伐木チャンピオンシップ(以下、「JLC」)の公式ルールに準じて、「①伐倒競技」「②丸太合せ輪切り競技」「③枝払い競技」の3種目を行い、その総合得点で順位を競うものです。

競技に先立ち、選手に各種目のポイントを学んでもらうため、今年11月に開催されたJLC鳥取大会優勝者の「今井陽樹(いまいひのき)」さんを講師としてお招きしました。

今井さんには、各種目の解説と併せて、日本トップレベルの正確かつ素早い華麗なデモンストレーションをご披露いただき、参加者一同魅了されていました。



①伐倒競技

①伐倒競技は、高さ1mほどのスギ丸太に受け口と追い口を作り、伐倒方向や「つる」の高さと幅の正確性、チェーンソーブレーキの扱いなどの安全動作を競う競技です。
②丸太合せ輪切り競技は、7度傾いた2本の丸太を上下から垂直に切り出し、輪切りの厚さ、切り合わせの

ズレ、丸太を垂直に切る技術を競う競技です。



②丸太合せ輪切り競技

③枝払い競技は、6mの丸太に差し込まれた枝を素早く切り落とすと同時に、枝の切り残しや丸太に傷を付けない正確な作業を競う競技です。



③枝払い競技

また、競技スタッフとして、(一社)岐阜県森林施業協会青年部会員の皆さんや、森林文化アカデミー学生の皆さんの協力をいただき、さらに鳥取県からもJLC審判資格を有する4名の方々に派遣いただくことで、厳正な審査の下で競技が行われました。

た。競技の結果は次のとおりです。

【新規就業者の部】

優勝…山口祥平

「岐阜県森林組合連合会」

二位…福本巧磨

「森林文化アカデミー」

三位…佐村隼大(有)根尾開発

【中堅技術者の部】

優勝…山崎信吾(株)岐阜緑地

二位…谷口隆志(郡上森林組合)

三位…佐々木悠太(飛騨市森林組合)

第一線の現場で活躍する森林技術者の皆さんの真剣勝負により大会が大いに盛り上がり技術者同士の交流にも繋がりました。

今後もこの評価会を継続していくことで、林業の労働安全に対する意識と技術レベルの向上に繋がっていきます。



競技参加者集合写真



◀こちらからダイジェスト版の動画をご覧いただけます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0508-272-8491

森林整備課担い手企画係まで

「令和3年度全国治山・林道コンクール」
「令和3年度山地災害防止標語コンクール」の表彰



「見て 聴いて 山の変化で すぐ避難」

【山林協会 瀬上 繁隆】

令和3年度（一社）日本治山治水協会及び日本林道協会主催の「治山・林道コンクールの各部門」と（一社）日本治山治水協会主催の「山地災害防止標語コンクール」の岐阜県を受賞者は次のとおりです。おめでとうございます。（敬称略）

第37回民有林治山・林道工事コンクール
農林水産大臣賞

治山施設災害復旧事業 門洞地区工事
金子工業株式会社 金子 健一郎

日本林道協会会長賞

地方創生道整備推進交付金事業
林道二間手～水沢上線（2-2工区）開設工事
株式会社丸登建設 原 勇喜

第44回林道維持管理コンクール

林野庁長官賞

林道 横道線
白川村長 成原 茂

令和3年度山地災害防止標語コンクール
奨励賞（二社）日本治山治水協会会長賞

岐阜市 田中 恭司



治山施設災害復旧事業 門洞地区工事



林道 横道線



地方創生道整備推進交付金事業
林道二間手～水沢上線（2-2工区）開設工事

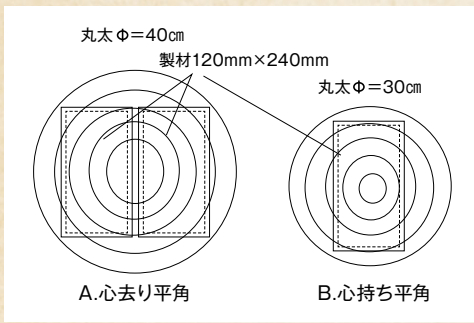


図1 平角材の木取り

表1 JAS 基準強度

単位：N/mm²

等級	基準強度
E90	34.8
E70	29.4
E50	24.0

(機械高級区分/曲げ)

スギ心去り平角材の強度を考える (1)

岐阜県森林研究所 ● 土肥 基生

はじめに

原木市場等に流通するスギ材の大径化が進んでおり、末口径40cm程度の丸太も珍しくありません。このような丸太からは、仕上がり寸法120mm×240mmの平角材を2丁取り(図1A)することが可能となり、今後は、心持ち平角材(図1B)に替わり、心去り平角材が増加することが予想されます。しかし現状では、心去り平角材が殆ど使われておらず、強度等に対する不安があります。

貫通した節が多い心去り材

森林研究所では現在、この「基準強度」を満たしているか否かを確認するため、スギ心去り平角材の曲げ強度試験(図2)を実施しています。図3に示す2本の試験材は、ヤング係数による機械等級区分では共にE

製材の強度に関する基準には、製材JASの等級ごとに定められた「基準強度」(表1)があり、住宅など建築物の構造計算等に使用されています。



図2 曲げ強度試験

70に区分され、基準強度は29.4 N/mm²です。しかし実際の曲げ強度試験の結果は、それぞれ、21.7 N/mm²、21.6 N/mm²となり、基準強度を大きく下回りました。過度な高温乾燥を行い、内部割れが多く発生した場合に、基準強度を下回ることにはありますが、今回は中温乾燥を行っており、内部割れも無いため、乾燥方法が原因とは考えられません。両者に共通したことは、平角を立てた状態の下側に、材面を貫通する節が存在していることです。製材の長さ方向の繊維は、この貫通した節によって分断されており、しかも節が「引張り」の力の加わる下側に位置したため、節を起点に折れるような形で破壊されていました。このような製材断面を貫通する節は「心去り材」特有のものであり、髓の位置が製材断面の中心付近にある「心持ち材」では、あまり見かけること

はありません。

おわりに

「心去り材」の全てで、このような強度低下をもたらす節が発生する訳ではありませんが、今回の試験では、基準強度に届かない材が見られました。このような材の外観上の特徴(節の位置や大きさなど)が判れば、選別を行うことで、強度の高い材を得ることができます。この選別を丸太の段階で行うことができれば、無駄な加工を減らすことにもつながります。今後も試験データを蓄積し、基準強度を満たすようなスギ心去り平角材の利用方法を検討していきたいと考えています。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



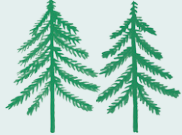
試験材 No3-2 (左右は木表、木裏で、矢印部分が貫通節)

試験材 No4-1 (左右は木裏、木表で、矢印部分が貫通節)

図3 基準強度を下回った試験材



造林技術の普及の必要性を実感



■恵那農林事務所 林業改良指導員 河原 誠二

令和元年度に植えた ヒノキが枯れた

令和元年12月に植林した山のヒノキが枯れたので見て欲しいと、森林組合から電話がありました。

電話で話をしながら枯れの原因は何だろうと考えます。

原因が病気だとするとやっかいだな。でも現地は管内の苗木生産者から購入したヒノキコンテナ苗を植栽しているので、病害対策がされているから植栽後のものだな。それとも気象害か。と色々と考えます。当然電話で聞いただけでは分からないので、枯死原因を究明するため現地調査に出かけました。

現地調査の実施 (R3・11・17)

標高が600m程の尾根上にある現地に到着し全体を見渡すと、部分的に下刈りが行われず、ササで覆われていて植栽木が被圧された箇所がありました。

枯死したヒノキは緩傾斜ほど多い状況で、枯死していないヒノキも葉量が少なく樹勢が弱い状況でした。次に土壌を調べてみます。枯死個体が多い箇所、枯死したヒノキを掘り取ってみると根腐れが確認できました。



▲下刈未実施区域



▲樹勢が弱い状況

更に土壌の状況を把握するためB層まで掘って確認すると、非常に粘性が高く水はけが悪い状況でした。そのため今年8月の大雨により土壌内に長期間滞水したことが、水はけのよい土壌を好むヒノキの根腐れの原因と考えました。



▲根腐れの状況

調査の結果、枯死に至った原因は所有者が自力で行った下刈りが不十分であったため、ササに被圧され弱ったところに根腐れが発生した、複合要因と考えました。

ヒノキより耐水性の高いスギを植栽し、適期に下刈りを実施していれば、枯死に至らなかったと考えられる技術の問題であると思いました。



▲粘性が高い土壌

調査の結果は資料としてまとめ、森林組合を通じて森林所有者へ伝えました。

植栽時期の問題

今回の枯死事例について森林研究所へ情報提供を行ったところ、植栽期が12月と遅かったため、昨年十分に成長できなかったことも原因として考えられるのでは無いかという助言を得ました。

コンテナ苗は植栽期を選ばない
ということが言われることがあり
ましたが、植栽適期に植えられな
かったため初期成長が悪い、もしく
は枯死に至った事例が各地で報告
されるようになりました。

そのため、コンテナ苗であっても
裸苗同様に、適期に植栽を行わな
ければならないと考えています。

コンテナ苗の普及と伐造一貫作
業が推奨されるようになり、管内で
も秋植えが行われるようになった
ので、秋植えのことが話題となるよ
うになりました。しかし話を聞いて
いると、秋植えの場合、その適期が
9月下旬から10月上旬であること
を知らないことや、恵那管内のよ
うに内陸の小雪地域では寒風害のリ
スクがあることを知らない技術者
が多いことを知りました。

管内の技術者に対し、コンテナ苗
であっても裸苗同様に植栽適期に
ついて注意して行うことや、地域的
な秋植えのリスクについて指導す
る必要があると思います。

林業技術の指導

ヒノキを枯死させてしまった関
係者から「代が替わり技術的なこ
とが分からなくなっているので教

えてほしい」という依頼がありま
した。

今後、補植等の保育作業が続くこ
ともあるので技術指導を行って
いきたいと考えています。

技術普及の必要性

岐阜県では齢級構成の平準化を
図るため主伐・再造林を推進して
います。

その取組の中で低コスト造林や
早生樹の植栽等にも取り組んでい
くこととしています。

これらを推進するには基本的な
造林技術が作業者に備わっている
必要があると考えています。

その一方で、林業の低迷により主
伐が控えられていた期間が長く続
いたため、基本的な造林技術が忘れ
られていないかと今回のヒノキの
枯死調査を終え感じています。

今後再造林が増加することを考
えると、造林技術に関する研修会の
開催等により、改めて技術普及を
図っていく必要があると考えてい
ます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0573-26-1111 内線305

恵那農林事務所まで

スマート林業通信 20

ドローン予備線架設技術研修を開催

林業架線の架設は、重量資材が
多く、また急斜面において人力で
行われており、労働強度がとて
高い作業です。そんな、架設作業
の労働強度軽減を図るため、今回
ドローンを用いて予備線架設を行
う技術の研修を企画しました。

研修は郡上市内の民有林内で開
催し、架線集材を行う県内の事業
体等から15名が参加しました。
研修内容は空撮用小型ドローン
に予備線（バインダー紐）を結び、
先山から土場へ向けて飛ばすとい
うものです。参加者全員に紐を付
けたドローンの操縦と土場での誘
導を体験してもらい、紐を引っ掛
からないように飛行させるための
コツやドローンを的確に誘導する
コツなどを学んでいただきました。
単純な作業ですが、予備線架
設を成功させるにはこうした小さ
なコツを習得することが必要不可
欠です。

参加者からは「人力での予備線
架設に比べて、楽で早い」といっ
た声もあり、林業架線架設時の労
働強度軽減に有効な技術の普及を

行うことが出来ました。

一度現場で実践してみたい、ま
た研修を企画してほしいなどのご
要望がありましたら、お声掛けく
ださい。



参加者による
ドローンの操縦

ドローンへの
バインダー紐取付



●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-135-2535

森林文化アカデミー

スマート林業推進係まで



国有林で山登りin岐阜署

アウトドアブームが続いていますが、山登りもその一つです。国有林の山にも多くの登山者が訪れます。

今回は、岐阜森林管理署が管理している国有林内の山を2箇所紹介します。

①美濃市の古城山

美濃市の南東部に位置する古城山(標高437m)は、美濃市内の小学校、中学校、高等学校(武義)の校歌にもその名が歌われているなど、市民には大変なじみ深い山です。



▲鈍尾山城石垣跡

この古城山は、その名が示すとおり、戦国時代には鈍尾山と呼ばれており、

山頂には佐藤六左衛門清信によって「鈍尾山城」が築かれていました。

その鈍尾山城の由来は、四方を釣り壁で構えられた城の造りで、鈍一丁で壁を切り落とせば何千騎もの敵を防ぐことができるといわれていたと伝えられています。

今は建物等は現存していませんが、当時の虎口(城の出入り口)、曲輪跡の石垣を見ることが出来ます。

古城山(山頂)へは、美濃市運動公園を発着とした周遊登山道(全長約4.1km)も整備されていますので、幅広い年代の方々が楽しめる登山道となっています。



▲古城山からの展望

山頂付近では、眼下に広がる美濃市のおだつが上がる町並みや、天気が良いければ東には北アルプス・中央アルプス、西には伊吹山・養老山脈、南には濃尾平野、北には鷲ヶ岳等々を見ることが出来ます。

麓には、岐阜県森林総合教育センター(morinos「モリノス」)があり、小さな子供から大人まで自分のペースで自分のやりたいことを体験できる施設もあります(営業時間は午前10:00〜午後4:00まで 火・水曜日は休館日)。一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

②下呂市の川上岳

下呂市と高山市にまたがる川上岳(標高1625m)は、位山舟山県立自然公園内にあり日本三百名山に選定されています。山頂は笹原のため360度のパノラマで、御嶽山が正面に見えるほか白山まで遠望できます。



▲川上岳からの展望

登山口は、下呂市萩原町山之口の山之口国有林と高山市一之宮町の宮国有林にあるほか、信仰の山として有名な位山(標高1529m)からも天空遊歩道という尾根伝いの登山道が延びています。その稜線は飛騨川と宮川との分水嶺となっています。山之口登山口から頂上までは約3時間かかります。特に秋はドウダンツツジの紅葉が美しく、多くの登山者で賑わいます。

また、宮国有林側には「宮の大イチイ」などの巨樹巨木が存在し、高山市が「源流の森」の尊さや森林の持つ多面的な機能を広く知ってもらうため森林教室を実施しています。



▲川上岳の紅葉

国有林の山は、本格的な登山装備が必要な場合があります。特に川上岳は積雪が多くアクセス道が通行止めになることもあるので、冬期の登山は大変困難です。

(岐阜森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
2月2日(水)~ 2月4日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間 2日 学科 8:50~17:10 3日 学・実 8:50~12:00 4日 実技 8:30~17:40 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ● 定 員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	2日(学科)・3日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 4日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知物見山)
2月9日(水)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ● 定 員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6)
2月15日(火)~ 2月18日(金)	フォークリフト運転 技能講習 受講資格 自動車普通運転 免許所持者	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間 1日目：学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目：実技・試験 8:00~17:30 ● 申 込：開催日の20日前まで ● 受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ● 定 員：20名(定員になり次第締め切ります。) 	(学科)伊自良中央公民館(山県市大門 912-1) (実技)ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5)



令和2年より続いている新型コロナウイルス感染拡大も、ピークを過ぎ、岐阜県における感染者数も『ゼロ人』という日も見受けられるようになりました。このため、私の地元、揖斐川町でもイベントが、徐々に行われるようになりました。

自粛疲れしているなかで、地域の公民館事業も始まり、12月5日には「ノルディックウォーキング」が晴天のなか盛況に開催され、私も2年ぶりに開催された公民館活動に参加させていただきました。ノルディックウォーキング終了後、町内の防災士からは、今後発生が懸念されている東南海地震に備えてどのようなことが必要なのかなどのお話があり、改めて防災意識が高まる有意義な1日を過ごすことができました。

私は、11月2日に第2回目の『コロナワクチン』の接種が終了したので、これまで自粛してきた国内鈍行旅行も『自粛解禁』といきたいものです。

「森林のたより」編集委員 下野 俊彦

イベント情報

3月1日発行

連載

- 山の歳時記(199)
- 山のおじゃまむし(368)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(110)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(108)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

3月号
予定

市況

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1780回 岐阜共販所 (初市) 1月11日	すぎ	3 m	16~18cm	17,000	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
			16~18cm	16,000	—	
		4 m	20~22cm	17,800	—	
			24~28cm	17,200	—	
			30cm以上	16,000	23,800	
	6 m	16~18cm	—	—		
		3 m	16~18cm	31,500	—	
			20cm以上	29,000	—	
		4 m	16~22cm	30,000	—	
			24~28cm	24,000	—	
30cm以上	23,000		—			
第1362回 飛騨共販所 (初市) 1月12日	すぎ	3 m	16~22cm	15,000	—	
			24~28cm	15,000	—	
		4 m	30cm以上	14,500	16,000	
	ひのき	3 m	16~18cm	31,000	—	
			20~22cm	29,000	—	
		4 m	24~28cm	24,000	—	
			30cm以上	25,000	36,600	
			6 m	16~20cm	36,000	—
	ひめこ	4 m	24~28cm	14,000	—	
			30cm以上	15,000	22,000	
5 m		30cm以上	22,000	—		
くり	4 m	24cm以上	15,000	41,000		
第1694回 東濃共販所 (初市) 1月13日	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—	
			24~28cm	17,000	—	
		4 m	30cm以上元	14,500	44,000	
	ひのき	3 m	16~22cm	31,500	37,000	
			24~28cm	27,000	31,000	
			30cm以上元	27,000	65,000	
		4 m	13cm以下	10,000	—	
			24~28cm	25,000	33,000	
	6 m	30cm以上元	27,000	95,000		
		4 m	18~22cm	36,000	—	
22~28cm梁			7,000	—		
	30cm以上元	9,000	—			

【商況】

各需要先は積雪を見据えた在庫確保のため入札は活発である。需要高は継続しており強含み感がみられるが、今後の動向に留意が必要。スギ4m中目、尺上 元木良材は応札多数、上げ基調、40cm上元木も強気。スギ並材3m4m併せて需要高ではあるが、価格は保合。3m(16~22cm)直造材が有利。スギ ラミナ向け3m4m材も併せて保合であるが引き合いは強い。ヒノキ並材、土台向け継続して保合、直造材が有利。4m中目(24~28cm)も入札旺盛。ヒノキ2.2m元木26cm上、直・小曲、需要あり。合板向けは需要旺盛で在庫不足。特にスギ、ヒノキが在庫底付き。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに在庫不足、需要高。(岐阜)

スギは全般的に横ばいでヒノキは弱含み。ヒメコは買気旺盛、特に元木30cm上は引き合いが強い。広葉樹は出材量が多く並材良材ともに応札旺盛。特にクリ2m30cm上応札旺盛。高値ミス×2.2m×32cm@41,000円カエデ2.2m×28cm@30,000円マクルミ4.2m×60cm@180,000円ケアキ3.8m×74cm@67,000円(飛騨)

ヒノキ並材3m特一は保合で横ばい。4m中目は弱含み。ヒノキ元木 良材2m・3m・4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))は、応札旺盛にて保合。スギ並材は、売りやすく大径木は売れ行き堅調も単価は保合。全般的に、ヒノキ・スギ、並材(16cm~22cm)は、応札旺盛にて保合。他の高値 ケアキ3.4m86cm@160,000/㎡(東濃)

製品卸売標準価格 (12月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	(3,308)	→
		3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	150,000	(6,615)	→
		3000	120	120	特等	130,000	(5,616)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	—	—	—
		6000	120	120	特等	180,000	(15,552)	→
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	167,000	(5,500)	→
		3000	120	120	国産5層	163,000	(7,000)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (12月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	421	米梅	へム(アラスカ産)	385
	コスト(目荒)	396~407		米ひば	ポール

日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コストのみ大阪相場))

熱電供給

木材用語一〇クモ

Combined Heat and Power (CHP) のこと。木質燃料の持つエネルギーの約90%は暖房用の熱に換えられるが、同じ燃料で電気を生み出すと30%程度と効率が落ちる。ただ、熱需要は電気ほど汎用性がないので、理想的には発電に伴って発生する排熱を利用することが利用手法の一つで、熱と電気で総合利用を引き上げる。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典

木材SCM支援システム

MOLINK

もりんく

木材SCM支援システム「もりんく」は林野庁の補助事業により開発されました。

まずは事業者登録(無料)から!

お試し用にゲスト登録もできます。

検索または二次元コードよりアクセスできます。

もりんく 検索 <https://molink.jp>



無料でPRページが作成可能

事業者情報を登録することで、事業や製品のPRページとしてご利用いただけます。

事業者を検索

取引先を地域や製品等から検索し、コンタクトをとることができます。

便利な業務ツール

木材関連事業者の業務で使える表計算シートや統計資料等をダウンロードできます。

コミュニケーション

事業者間の需給情報共有や取引に関するコミュニケーションを掲示板やチャットでできます。

岐阜県サプライチェーンマネジメント推進フォーラム(事務局:岐阜県木連内)TEL 058-271-9941